



公益社団法人 川崎市看護協会

## 『令和6年度 看護研究・活動報告会』

# 演題募集

職場で行った研究や、日頃の取組みの成果をまとめて発表してみませんか!?

活動報告も大歓迎!!

ex 看護補助者の教育に関するもの  
抑制ゼロに向けた取組  
認知症を持つ人の看護 …  
なんでもお待ちしております!

★ハードルが低く誰でも  
発表できるのが良いですね!  
★講評で丁寧なコメントを頂き、  
研究が楽しいと思えた!

【応募資格】 川崎市看護協会会員(演題申込時)



昨年の発表者の声

【演題受付】 令和6年10月1日(火)~12月2日(月)

申込方法 川崎市看護協会ホームページ(または二次元コード)の  
研修フォームから、必要事項(備考欄に看護研究か活動  
報告か明記し「演題名」を記載)を入力してください。

<https://www.kawa-kango.jp/nurse/training/>



※受付完了メールが、入力されたメールアドレスに返送信されます。  
(メールが届かない場合はご連絡してください)

【原稿締切】 令和6年12月18日(水)

原稿の書式・提出方法などは、ホームページをご覧ください。

発表会

日時：令和7年2月27日(木) 9:30~16:00

場所：川崎市ナースィングセンター研修室 (ハイブリード開催)

講評：川崎市立看護大学 成人看護学教授 系井裕子 先生

(問合せ先)

公益社団法人川崎市看護協会

地域・研修担当 酒井・佐藤

TEL: 044-711-3995

メール: [mai12@kawa-kango.jp](mailto:mai12@kawa-kango.jp)

## 《申込方法と発表までの流れ》

\*2024年度川崎市看護協会会員でない方は入会手続きが必要です。

### (1) 演題申込をする

川崎市看護協会ホームページの研修申込みフォームから

\* 備考欄に下記の内容を記載

- ① 「看護研究」か「活動報告」か
- ② 「演題名」
- ③ 「共同研究者名」 (共同研究者がいる場合)

令和6年10月1日(火)～令和6年12月2日(月)まで

### (2) 集録原稿を提出する

規定の書式でメールにて令和6年12月18日(水)まで(抄録の提出は不要)

\*原稿記載方法は別紙参照(川崎市看護協会ホームページにも掲載)

\*原稿は未発表(施設内発表は可)のものとする。

### (3) 選考

- ① 12月中に教育委員会が集録原稿を基に選考を行ないます。
- ② 採否の結果は1月上旬に通知します。
- ③ 採否決定後、特に倫理的配慮など必要に応じ修正を依頼することがあります。

### (4) 発表(看護研究・活動報告会) 令和7年2月27日(木)

- ① 口演による発表
- ② 研究発表は1演題、約8分 活動報告は1演題、約6～8分
- ③ PC・プロジェクター使用可

\*集録集は当日配布となります。

\*「看護研究・活動報告会」の詳細は1月下旬に通知します。

<原稿送付先>

**mail2@kawa-kango.jp**

担 当 地域・研修担当 酒井・佐藤  
〒211-0067 川崎市中原区今井上町1番34号 和田ビル3F  
公益社団法人川崎市看護協会  
TEL 044-711-3995

《原稿記載方法》

\*原稿記載例を参照してください

\*令和5年度から書式を変更しています。

1. 書式設定は10.5ポイントでA4判に横書き45文字×40～45行の範囲で作成し、4枚以内  
(図表、写真含む)白黒とする。余白は上下20mm 左右20mm
2. 字体は和文フォント MS明朝で全角 英文・アラビア数字・カッコは半角とする。
3. 表題名 施設名 発表者名 キーワードについて (すべて中央揃えにする)
  - (1) 1行目 演題名  
サブタイトルがある場合は2行目に記載し前後に全ダッシュをつける
  - (2) 所属施設名 2カ所以上の場合は<sup>1)</sup><sup>2)</sup>の番号をつける (タイトル行から1行空ける)
  - (3) 発表者名 共同研究者名は1マスずつ空けて列記し 発表者名に○をつける
  - (4) キーワード :のあとに3～5つまで 1マスずつ空けて列記する。
4. 本文 (キーワードの行から1行空けて開始。以降は行間は空けずに記載)

- (1) 項目立て

原稿種別	項目立て
看護研究	I. はじめに II. 目的 III. 方法 IV. 倫理的配慮 V. 結果 VI. 考察 VII. 結論 VIII. 引用文献
活動報告 *参考	I. はじめに II. 目的 III. 方法 IV. 倫理的配慮 V. 結果・成果 VI. 実践への示唆 VII. 引用文献

- (2) 見出しは I. 1. 1) (1) ① の順で記載する。
- (3) 図、表について
  - ①図、表、写真を入れる場合は、白黒で見やすい大きさにする。
  - ②図、表の文字 数字は判読可能なものにする。
  - ③図、表の挿入位置を本文中 ( )にて指定する。
  - ④表番号と表タイトルは表の上、図番号と図タイトルは図の下に入れ、中央揃えとする。
- (4) 利益相反の有無については本文内引用文献の前に記載する。  
例：(ない場合) なお、本論文に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。  
(ある場合) 筆頭著者は「企業名」より、報酬を受理している。

5. 引用文献

- (1) 本文中の引用箇所には著者名と出版年を合わせて示す。(ハーバード方式)
- (2) 文献リストは著者名の姓のアルファベット順にAPAスタイルで表記する。
  - ①論文 著者名(出版年). 論文タイトル. 掲載雑誌名, 巻号数. 掲載ページ.
  - ②図書の一部  
著者名(出版年). 章タイトル. 編集者名. 図書名(掲載ページ). 出版社名.
  - ③ Web サイト  
著者名(発行・更新年月日). 記事タイトル. Web サイト名. URL. (検索日: 年 月 日)
  - ④複数名の論文  
著者名, 著者名, 著者名(出版年). 論文タイトル. 掲載雑誌名, 巻号数. 掲載ページ.